



## 弘前大学放射線科研修について

梅村 芳史 放射線診断科 医員

2019年3月 岩手医科大学卒

放射線科専門研修プログラム 2022年度開始

私は岩手医科大学卒業後、地元の弘前に戻り弘前大学医学部附属病院で2年間の初期研修を積みました。2年目になった頃には3年目にどのようなキャリアを選択するか決めなければいけません。選択肢としては専門医を目指すこと、学位をとること、あるいは両方の取得をめざすこと、専門医を持たずに一人の医師として働いていくことと様々です。私の場合、放射線診断学の専門医と学位取得を目指すことを選択しました。その両方を取得するために弘前大学の大学院に所属し放射線科専門研修プログラムを研修することを決めました。

私が放射線診断科に興味を持ったのは様々な科をローテートしていくうちに画像診断の必要性を常々実感したからです。患者さんの診断のために問診、診察、採血データなど侵襲性の低い検査から病気の経過や現状を考察していきます。しかし、それだけでは判断が難しいためX線写真、CTなども必ず施行されます。そしてこの画像からわかることというのは視覚的に病気をとらえ、現病歴と照らし合わせながら考察し、経過を追っていくことでより診断能を高め治療方針を決めていくことができます。すべての専門領域において画像検査は不可欠でしょう。また様々な科とカンファレンスする機会も多く、それぞれの領域の知識や意見交流をし、お互いに研鑽を積むことができるのも魅力の1つです。

2022年度の入局者は私を含め4人でした。来年度の入局者もすでに決まっており興味を持っている方が増えています。さらに指導医となる上級医の先生方は一人ひとりにとっても真摯に指導してくれます。学生、初期研修のうちにローテートすることができますし、後期研修医から専門医を持っている方までいつでも見学や研修が可能です。ぜひ一度見学にいらしてください。みなさんの今後の進路を応援しています。



IVR手技



朝カンファレンス